



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 ラクオリア創薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4579 URL https://www.raqualia.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 河田 喜一郎 TEL 052-446-6100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	573	△19.0	△600	—	△615	—	△698	—
2019年12月期第3四半期	708	32.9	△534	—	△527	—	△531	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △703百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △499百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△33.35	—
2019年12月期第3四半期	△25.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年12月期第3四半期	4,130		3,917		94.6	
2019年12月期	4,836		4,620		95.3	

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,905百万円 2019年12月期 4,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,579	△7.2	△260	—	△256	—	△333	—	△15.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は、年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）については、記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	20,950,642株	2019年12月期	20,950,142株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	50株	2019年12月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	20,950,500株	2019年12月期3Q	20,504,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の状況

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症(COVID-19、以下「COVID-19」)の流行拡大とそれに伴う政府の「緊急事態宣言」発令等が影響し、景気は依然として厳しい状況にあります。欧州を中心にCOVID-19の感染が再拡大、世界景気の回復が遅れるとの懸念も高まっております。

このような環境下において、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下の通りとなりました。

ペット用医薬品につきましては、犬の骨関節炎治療薬GALLIPRANT®(一般名:grapiprant)が、第3四半期連結会計期間において、米国での売上が順調に回復しつつあるほか、欧州で堅調に推移いたしました。一方、犬の食欲不振症治療薬ENTYCE®(一般名:capromorelin)は、引き続き堅調に推移いたしております。

医薬品候補化合物の導出や共同研究に向けた取り組みにつきましては、COVID-19の影響で、対面での面談の機会が減少し、若干の悪影響を受けましたが、web会議等を利用しつつ事業開発活動を着実に進めてまいりました。胃食道逆流症治療薬tegoprazan(一般名:tegoprazan、以下「tegoprazan」)の開発につきましては、米国において、導出先のHK inno.N Corporation(韓国、以下「HKイノエン社(韓国)」)が第I相臨床試験の開始に向け準備を進めているほか、中国においては、Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Co.,Ltd.(中国)が新薬承認申請の準備中です。また、日本においては、当社とHKイノエン社(韓国)との間の開発に向けた協議を行っております。

産学連携につきましては、2020年9月に国立大学法人長崎大学との間で、COVID-19に対する新規治療薬の共同開発を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、事業収益573百万円(前年同四半期比19.0%減)、営業損失600百万円(前年同四半期は、営業損失534百万円)、経常損失615百万円(前年同四半期は、経常損失527百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失698百万円(前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失531百万円)となりました。

なお、事業費用の総額は1,174百万円(前年同四半期比5.5%減)、その主な内訳は事業原価97百万円(前年同四半期比41.2%減)、研究開発費675百万円(前年同四半期比5.7%増)及びその他の販売費及び一般管理費402百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

② 研究開発活動

当社グループの研究開発活動における当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、675百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間における主な研究開発の概況は、以下のとおりであります。

(A) 自社の研究開発及び共同研究 (探索段階)

国立大学法人長崎大学 感染症共同研究拠点/熱帯医学研究所の安田二郎教授・櫻井康晃助教と、COVID-19に対する新規治療薬の創出を目指して共同研究を開始しました。

当第3四半期連結累計期間においては、上記以外について重要な変更はありません。

(B) 導出先の開発状況

tegoprazan(韓国登録商標K-CAB®、開発コード:RQ-00000004/IN-12420)

韓国で既に胃食道逆流症等の治療薬として承認・販売されている本化合物について、HKイノエン社(韓国)は、米国食品医薬品局(FDA)に新薬臨床試験開始届(IND)を提出し、2020年6月に試験実施の承諾を得ました。同社は臨床試験の実施に向けた準備を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、上記以外について重要な変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は、前連結会計年度末に比べ706百万円減少(14.6%減)し、4,130百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少498百万円、売掛金の減少615百万円、有価証券の増加708百万円及び投資有価証券の減少438百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少(1.5%減)し、212百万円となりました。これは主に、買掛金の増加5百万円、前受金の減少6百万円及び繰延税金負債の減少4百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ703百万円減少(15.2%減)し、3,917百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失698百万円の計上によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は94.6%(前連結会計年度末比0.7ポイント減)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加(5.0%増)し、2,310百万円(前年同四半期は1,859百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ449百万円減少し95百万円(前年同四半期比82.5%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失612百万円及び減価償却費86百万円を計上したことのほか、売上債権の減少615百万円による資金の獲得によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、前年同四半期に比べ20百万円増加し246百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入387百万円のほか、有形固定資産の取得による支出84百万円及び投資有価証券の取得による支出106百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、0百万円(前年同四半期は375百万円の獲得)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出0百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

COVID-19の世界的拡大を受け、医薬品業界においては患者の受診抑制、顧客への訪問自粛等で販売営業活動に支障が出ております。当社グループへの影響につきましては、国内出張の自粛、海外渡航の実質的禁止等で事業開発活動に大きな支障が出ております。

今後もCOVID-19の推移によっては、国内外の移動制限継続に伴う製薬会社等との開発品の導出交渉や共同研究交渉へ影響が及ぶ可能性があります。また、提携先企業においても、臨床試験の延長や計画変更並びに医薬品の販促活動の停滞が発生する可能性があります。それらの結果、当社グループの経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

現時点では、2020年8月14日に公表致しました「2020年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の数値に変更はありません。COVID-19の再流行や国内外の移動制限等で、今後、重大な影響が見込まれる場合は速やかに開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,174,200	1,676,143
売掛金	747,267	131,857
有価証券	26,006	734,139
貯蔵品	5,500	4,540
前渡金	5,952	23,650
前払費用	69,231	123,038
その他	38,988	70,965
流動資産合計	3,067,147	2,764,335
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	77,528	73,634
工具、器具及び備品(純額)	169,179	212,281
リース資産(純額)	2,173	1,658
有形固定資産合計	248,881	287,574
無形固定資産		
商標権	5,129	5,324
ソフトウェア	26,805	24,938
その他	550	1,145
無形固定資産合計	32,485	31,409
投資その他の資産		
投資有価証券	1,474,270	1,035,691
長期前払費用	2,199	558
その他	11,576	10,690
投資その他の資産合計	1,488,047	1,046,940
固定資産合計	1,769,413	1,365,924
資産合計	4,836,561	4,130,259

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,297	40,248
リース債務	741	741
未払金	67,183	71,616
未払費用	50,423	49,566
未払法人税等	20,235	16,509
前受金	6,875	—
預り金	3,318	5,783
流動負債合計	183,074	184,465
固定負債		
リース債務	1,667	1,111
資産除去債務	11,934	12,007
繰延税金負債	19,236	15,092
固定負債合計	32,839	28,211
負債合計	215,914	212,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,254,943	2,255,096
資本剰余金	2,444,726	2,444,879
利益剰余金	△99,172	△797,824
自己株式	△21	△21
株主資本合計	4,600,476	3,902,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,906	3,306
その他の包括利益累計額合計	7,906	3,306
新株予約権	12,265	12,147
純資産合計	4,620,647	3,917,582
負債純資産合計	4,836,561	4,130,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
事業収益	708,168	573,550
事業費用		
事業原価	165,415	97,312
研究開発費	638,883	675,005
その他の販売費及び一般管理費	437,907	402,002
事業費用合計	1,242,206	1,174,320
営業損失(△)	△534,037	△600,770
営業外収益		
受取利息	6,957	3,428
有価証券利息	26,464	23,092
複合金融商品評価益	6,080	2,250
補助金収入	—	1,500
その他	629	522
営業外収益合計	40,131	30,793
営業外費用		
為替差損	23,583	45,201
株式交付費	10,460	78
その他	1	0
営業外費用合計	34,045	45,279
経常損失(△)	△527,951	△615,256
特別利益		
固定資産売却益	—	750
投資有価証券売却益	5,728	8,430
特別利益合計	5,728	9,180
特別損失		
投資有価証券売却損	—	348
投資有価証券償還損	—	5,778
特別損失合計	—	6,127
税金等調整前四半期純損失(△)	△522,223	△612,203
法人税、住民税及び事業税	9,828	86,627
法人税等調整額	△216	△177
法人税等合計	9,612	86,449
四半期純損失(△)	△531,836	△698,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△531,836	△698,652

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△531,836	△698,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,960	△4,599
その他の包括利益合計	31,960	△4,599
四半期包括利益	△499,875	△703,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△499,875	△703,252
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△522,223	△612,203
減価償却費	101,937	86,405
受取利息	△6,957	△3,428
有価証券利息	△26,464	△23,092
為替差損益(△は益)	27,345	40,648
補助金収入	—	△1,500
複合金融商品評価損益(△は益)	△6,080	△2,250
株式交付費	10,460	78
固定資産売却損益(△は益)	—	△750
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,728	△8,081
投資有価証券償還損益(△は益)	—	5,778
売上債権の増減額(△は増加)	△59,326	615,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,530	959
仕入債務の増減額(△は減少)	3,402	5,950
前渡金の増減額(△は増加)	445	△17,698
前払費用の増減額(△は増加)	△60,881	△53,806
未払金の増減額(△は減少)	△38,385	△30,030
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3,029	△31,850
その他	31,900	△7,598
小計	△563,116	△37,058
利息及び配当金の受取額	34,412	30,321
補助金の受取額	—	1,500
法人税等の支払額	△15,630	△90,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544,334	△95,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△62,947	△84,387
有形固定資産の売却による収入	—	750
無形固定資産の取得による支出	△21,813	△4,115
投資有価証券の取得による支出	—	△106,933
投資有価証券の売却による収入	301,440	387,515
投資有価証券の償還による収入	—	53,775
その他	△433	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	226,245	246,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	371,162	110
新株予約権の発行による収入	4,412	—
リース債務の返済による支出	△555	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	375,018	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,305	△41,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,624	109,844
現金及び現金同等物の期首残高	1,829,540	2,200,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,859,165	2,310,051

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループへの影響は現時点では限定的であり、当連結会計年度の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年9月30日)

当社グループは、「医薬品の研究開発」並びにこれらに関連する事業内容を行っており、事業区分が単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年9月30日)

当社グループは、「医薬品の研究開発」並びにこれらに関連する事業内容を行っており、事業区分が単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。